

| 科 目                         | 受 験 生 記 入 欄 |     |         | (ア) | (イ) |
|-----------------------------|-------------|-----|---------|-----|-----|
|                             | 科           | 声種： | 受 験 番 号 |     |     |
| 音楽史<br>(作曲)<br>/ 枚のうちの / 枚目 | 専攻          | 楽器： | 番       |     |     |

以下の6問題から2問題を選んで答えなさい。

解答は必ず1問題ごとに解答用紙（800字詰め）を1枚ずつ使い、各解答用紙の冒頭の1マスに選択した問題の番号を明記すること。

1. 古典古代末期に音楽について論じた著作を3点以上挙げ、比較しながら説明しなさい。
2. バロック時代の器楽のための組曲について概略を述べ、それが古典派以降の音楽史において果たした役割についても言及しなさい。
3. オペラ・ブッフアについて、それが誕生した背景も含めて説明しなさい。
4. 音楽の「聴取」に新たな視座を与えたあなたが考える第二次大戦後の分析理論を一つ挙げ、その内容や特徴などについて批判的に論じなさい。
5. 20世紀前半の日本の女性作曲家の活動について知るところを述べなさい。
6. 日本・東洋諸国における人形劇（影絵芝居を含む）から一つを選び、その芸態と音楽表現上の特徴を説明しなさい。